公表

事業所における自己評価総括表　（児童発達支援）

○事業所名	とらいあんぐる　あっぷ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	13名	（回答者数）	13名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月8日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動プログラムの中で成功体験を積むことで自己肯定感を高める	職員が様々な発想で新しい活動を取り入れ、簡略化したルールで行うことで達成感を感じられるように対応している	勝敗のある活動ではそれにこだわらず、相手や自分を称える気持ちが芽生えるよう対応していく
2	障がい者相談支援事業所など地域の関係機関との連携	定期的に連絡を取ることで、利用者やご家庭の様子を共有している	インクルージョンの推進に向けて、移行支援等保育園・幼稚園などとの連携に努める
3	利用者やご家庭に寄り添った支援	・利用者の気持ちを受け止め、肯定的な言葉掛けによって自己肯定感が高まるよう支援している ・ご家庭からの相談・要望に対して、職員間で情報共有を行うことで迅速に対応できるようにしている	状況に応じて絵カードなどのツールを使用することで、より深いサポートを行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やご家族参加の研修会など、保護者同士の交流の機会がない	コロナの流行に伴い親子行事や外出行事を休止していた	コロナの5類移行に伴い外出活動・行事や保護者参観の機会を増やしており、保護者会の開催を検討している
2	保護者への各種情報発信の不足	・毎月の通信や日々のブログで活動の紹介を行っているが、周知不足であった ・姉妹事業所との交流会の機会を設けたが、周知不足であった	様々な取り組みについて、情報の発信と周知を積極的に行っていく
3			